

第9回 九州保育三団体研究大会 沖縄県大会

「すべての子どもの権利と育ちを保障していく社会の実現」をめざして
～子どもの笑顔を絶やさない、平和の継承～

2025.7/17木・18金

【会 場】

全大会／那覇文化芸術劇場なは〜と

分科会／沖縄ハーバービューホテル・ホテルコレクティブ・ホテルオリオン那覇・那覇文化芸術劇場なは〜と

交流会／沖縄ハーバービューホテル

【主催】：九州保育三団体協議会

【共催】：九州社会福祉協議会連合会、社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会

【主管】：沖縄県保育協議会

【後援】：こども家庭庁、沖縄県、那覇市、社会福祉法人全国社会福祉協議会、全国保育協議会、全国保育士会
(予 定) 公益社団法人全国私立保育連盟、社会福祉法人日本保育協会

第9回九州保育三団体研究大会（沖縄県大会）開催要綱

<大会主題>

「すべての子どもの権利と育ちを保障していく社会の実現」をめざして
～子どもの笑顔を絶やさない、平和の継承～

<大会趣旨>

沖縄県は、アジア大陸の東にあって、弧状に連なる日本列島の最西端に位置し、亜熱帯海洋性気候という特性から、美しいサンゴ礁、貴重な野生生物など優れた自然環境に恵まれ、中国や東南アジアの交易・交流を通じて、独自の文化を形成してきました。

かつて、琉球王国という独立国だった沖縄は、1609年に日本の幕藩体制に組み込まれ、1879年の廃藩置県で日本の一県となりました。その後、1945年の太平洋戦争では、凄惨な地上戦の場となり、多くの尊い命が失われました。終戦後は長きにわたって米軍の統治下に置かれ、1972年に日本復帰となり現在に至っております。

復帰後は日本の保育制度が適応されるものの、様々な支援や整備が間に合わず、母親の就労と子どもたちの育ちを守るため、想いを持った沖縄の女性が立ち上がり私財・労力を投げて無認可保育所を開設する姿が見られ、先人達の功績は今日の沖縄の保育にも受け継がれています。

令和7年は、先の大戦終結より80年節目の年を迎え、本県において、先人の想いを馳せながら、大会を通じてすべての子どもの権利と育ちを保障していく社会の実現に向けて語らえることは、何か運命めいたものを感じる次第であります。

さて、国においては「こども家庭庁」を創設し、「こども基本法」に基づく「こども大綱」が作成されました。また、「かかりつけ相談機関」や「こども誰でも通園制度」など、保育所・認定こども園等には、地域子育て家庭への支援が期待され、その役割は大きくなっています。

一方で、九州各県には島しょ地域も含め人口減少地域が多く存在し、保育所・認定こども園等の運営が厳しくなっている状況が顕在化するとともに、「持続可能な保育提供体制づくり」が喫緊の課題となっています。

私たちは「こどもまんなか社会」の実現に向け、良質な保育の維持・確保に向けた取り組みの強化や保育士の社会的地位の向上、関係機関と連携した保育施策の充実に向けて行動していかなければなりません。

この度、九州各県の皆様とここ沖縄で保育を語ることができとても嬉しく思います。どうぞ、大会期間中は、沖縄の燦々と降り注ぐ太陽の光や青く輝く海、琉球王朝時代からなる独自の歴史や文化も併せて存分に味わっていただけたらと思います。

最後に、すべての子どもたちが「権利の主体」として尊重され、子どもの「最善の利益」が優先されるとともに、子どもが「社会に参画する機会が確保」されることを目指して、九州各県および保育三団体等が更に一丸となって、第9回九州保育三団体研究大会沖縄県大会を共に盛り上げていただきますことを祈念いたします。

- 1 主 催 九州保育三団体協議会
- 2 共 催 九州社会福祉協議会連合会、社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会
- 3 主 管 沖縄県保育協議会
- 4 後援（予定）
こども家庭庁、沖縄県、那覇市、社会福祉法人全国社会福祉協議会、全国保育協議会、全国保育士会、公益社団法人全国私立保育連盟、社会福祉法人日本保育協会
- 5 期 日
令和7年7月17日（木）～18日（金）
- 6 受 付
令和7年7月17日（木） 12:10～13:10
令和7年7月18日（金） 9:00～9:30（第1～8分科会 各会場にて）
10:00～10:30（開催県特別分科会のみ）
- 7 会場
（1）全大会 那覇文化芸術劇場なはへと
（2）分科会 沖縄ハーバービューホテル
ホテルコレクティブ
ホテルオリオン那覇
那覇文化芸術劇場なはへと

8 日程（予定）

1 日目 7 月 17 日 (木)	9:00		10:00		12:10		13:00		14:30		16:15		19:00		
			九社連保育協議会 会長会議 10:00～		九州保育三団体 協議会理事会 10:40～		一 般 受 付	オ ー プ ニ ン グ		式典 13:25 ～ 14:10		基調講演 14:30～16:00		九州ブロック 保育士会セミナー 16:15～18：30	交 流 会 19:00 ～ 21:00
					被表彰者受付 11:00～ 記念撮影 11：40～						九州ブロック 保育士会会長会 14:30～16：00		分科会発表者 打ち合わせ 16:30～18:00		
9:00 9:30 12:00 14:00 15:30 16:00															
2 日目 7 月 18 日 (金)	分 科 会 受 付	分科会 9:30～12:00			昼食・休憩・選考会 12:00～14:00			記念講演 14:00～15:30			総会 15:40～16:00			閉会式 16:05 ～ 16：20	

9 参加者及び参加者数

- （1）参加者
 - ①保育施設役員、職員
 - ②社会福祉協議会役員、職員
 - ③自治体保育関係者
 - ④その他保育事業関係者
- （2）参加予定数
1,200人

10 基調講演

- (1) 日 時 令和7年7月17日(木) 14:30～16:00
 (2) 場 所 那覇文化芸術劇場なは～と 大劇場
 (3) 講 師 こども家庭庁 ― 調整中 ―

11 分科会一覧

分科会	カテゴリー	テーマ(割当)
第1分科会	子どもの育ちを保障する	新たな時代の保育実践 ～すべての子どもにむけて～ (福岡県・佐賀県)
第2分科会		配慮を必要とする子どもや家庭への支援にむけて (長崎県・熊本県)
第3分科会		保育者の資質向上を図り、保育現場の魅力を発信する (大分県・宮崎県)
第4分科会	子育て家庭を支える	地域の子育て家庭への支援の充実にむけて (鹿児島県・沖縄県)
第5分科会	多様な連携と協働をつくる	子どものより良い育ちと安全・安心の環境づくりにむけた 関係機関とのネットワーク (福岡県・長崎県)
第6分科会	子育て文化を育む	家庭や地域との連携による食育の推進 (福岡県・熊本県)
第7分科会		保育の社会化にむけて ～保育の営みをいかに社会に発信するか～ (福岡県・鹿児島県)
第8分科会	子育て・子育てを支援する 仕組みをつくる	公立保育所・公立認定こども園等の使命と地域社会での役割 (福岡県・沖縄県)
開催県 特別分科会		テーマ「碧き王国の歴史～九州と海城アジアを結ぶ」 講師 賀数 仁然 氏 (琉球史芸人・ラジオパーソナリティ)

12 記念講演

演 題 「保育の中の子どもの声～自分の声を聴きとられる心地よさ 多様な声を響き合
わせるおもしろさ～」

講 師 山梨大学 名誉教授 加藤 繁美 氏

日 時 令和7年7月18日(金) 14:00～15:30

会 場 那覇文化芸術劇場なは～と 大劇場

1 3 第36回九州ブロック保育士会セミナー

演 題 「指針改定に向けた保育の質の再確認（仮題）」

講 師 神戸大学大学院 教授 北野 幸子 氏

全国保育士会 副会長 北野 久美 氏

日 時 令和7年7月17日（木）16：15～18：30

会 場 那覇文化芸術劇場なは〜と 大劇場

1 4 表 彰

表彰は、九州保育三団体協議会表彰規程及び九州社会福祉協議会連合会顕彰規程により、九州保育三団体協議会会長名、九州社会福祉協議会連合会会長名でそれぞれ行います。

1 5 参加費 16,000円（1人）

1 6 参加申込

- （1）今大会の参加・宿泊・交流会等の斡旋並びに取りまとめ等については、名鉄観光サービス（株）沖縄支店が行います。本大会への参加・宿泊等については、下記の「参加申込専用サイト」よりお申込みください。

URL：<http://www.mwt-mice.com/events/2025sandantai>

- （2）分科会は先着順での受付となります。各分科会の定員になり次第締め切りますのでお早めにお申し込みください。

- （3）参加申込み完了時に、参加申込画面で登録された内容に従い、申込完了メール受信後2週間以内に指定の口座へお振込みください。

なお、お振込みいただいた参加費等は返金いたしませんので、予めご了承ください。

また、自然災害等の影響により開催できない場合も参加費等の返金はできませんが、事務局から大会資料等を後日発送させていただきます。

- （4）今大会は、大会参加券等の発行はございません。

1 7 申込締切 令和7年5月21日（水）まで

1 8 個人情報の取扱い

「参加申込専用サイト」にご登録いただいた個人情報は、本大会管理運営に関する業務以外の目的には使用いたしません。

1 9 事故防止及び公衆衛生のための措置

来場者に有事の際の避難経路を確認いただく、体調のすぐれない方の来場を控えていただく等の事故防止及び公衆衛生のための措置を講じます。

【参加・宿泊等お問合せ先】

名鉄観光サービス株式会社沖縄支店 担当：原

〒900-0032 那覇市松山1-1-14 那覇共同ビル2階

TEL 098-862-8211 FAX 098-862-8212

【令和7年3月発行】

■第9回九州保育三団体研究大会沖縄県大会実行委員会■

沖縄県社会福祉協議会・沖縄県保育協議会事務局

〒903-8603 那覇市首里石嶺町4-373-1 沖縄県総合福祉センター4階

TEL 098-887-2000 FAX 098-887-2024

分科会

【カテゴリー1】 子どもの育ちを保障する

保育所・認定こども園等の大きな役割は、子ども自身が持つ発達する力を活用することができるよう支援し、子どもの育ちを保障することにあります。子どもの発達支援を中心に据えた保育を展開するために、質の高い保育について研究を深めます。また、研修を充実し、保育を実践する人材の育成に取り組みます。

◇第1分科会 新たな時代の保育実践 ～すべての子どもにむけて～

子ども・子育て支援新制度では、「保育の必要性（の認定）」に基づいて、保育が提供されます。

また、幼児期の教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進するとの子ども・子育て支援法の趣旨から、認定こども園制度を改め、学校及び児童福祉施設としての法的位置づけをあわせ持つ新たな幼保連携型認定こども園が創設されました。

保育所は、これまで保育所保育指針に基づき、児童福祉施設として、各保育所における創意工夫のもと、保育実践をすすめてきました。認定こども園では、保育所保育指針を踏まえた「認定こども園教育・保育要領」に基づき、保育が展開されます。

本テーマでは上記実践のもと、子ども一人ひとりの健やかな育ちを保障し、保育の質を向上していくための手法や、さらに今後の保育をめぐる動きのなかで大切にすべき保育実践の視点について研究を深めます。

- 意見発表者：福岡県、佐賀県
- 助言者：沖縄女子短期大学 教授 平田 美紀 氏
- 定員：150名
- 会場：沖縄ハーバービューホテル

◇第2分科会 配慮を必要とする子どもや家庭への支援にむけて

保育所・認定こども園等では、発達障害、医療的ケア児、要保護児童など配慮を必要とする子どもの増加が指摘されてきています。また保護者自身が生活面など何らかの課題をもち、子育てに困難が生じるケースも増えています。

本テーマでは、こうした子どもや保護者に対する保育・子育て支援関係者としてののかかわり方、あるいは保育者としていかに寄り添い、支援をおこなうべきかについて、研究を深めます。

- 意見発表者：長崎県、熊本県
- 助言者：沖縄キリスト教短期大学 教授 大城 りえ 氏
- 定員：150名
- 会場：沖縄ハーバービューホテル

◇第3分科会 保育者の資質向上を図り、保育現場の魅力を発信する

保育所・認定こども園等における今日の状況として、職員の就業形態や雇用形態の多様化とともに働き方改革がすすめられています。職員間の連携、チームワークの形成や、職場全体としてのスキルアップとともに、働きやすい職場づくりに一層留意する必要があります。

子ども・子育て支援制度施行後、多様化する利用者ニーズに対応するとともに、保育現場の魅力を発信しながら、人材の確保・育成に努めていく必要があります。

本テーマでは、保育所・認定こども園等の内外の研修や情報共有のあり方、保育者の自己評価など、職員の資質向上にむけた効果的な実践と保育現場の魅力発信の取り組み、さらには保育現場に求められる働きやすく、やりがいのある職場づくりについて研究を深めます。

- 意見発表者 : 大分県、宮崎県
- 助言者 : 琉球大学 准教授 岡花 祈一郎 氏
- 定員 : 170名
- 会場 : ホテルオリオン那覇

【カテゴリー2】 子育て家庭を支える

子どもが心身ともに豊かに成長するためには、子どもと家庭を一体的に捉えて、その家庭を支援することが必要です。保育所・認定こども園等は、保育・子育て支援機能を充実し、多様化する働き方のなかで新たな子育て家庭のニーズに応え、子育て支援の拠点として、すべての子育て家庭を対象とした支援を展開します。

◇第4分科会 地域の子育て家庭への支援の充実にむけて

保育所保育指針においては、保育所の役割として、保護者に対する支援と地域における子育て支援が明確に位置づけられています。また、新たな幼保連携型認定こども園では、子育て支援の実施が義務付けられています。

一方で地域のつながりが弱まるなか、子育てに孤立感や孤独感を深めている家庭へのアプローチが、とくに重要な取り組みとなっています。

本テーマでは、地域子育て支援における保育所・認定こども園等の機能や、保育者に求められる知識や技術を、いかに地域支援に活かしていくかなど、地域の子育て家庭に対する支援のあり方について、研究を深めます。

- 意見発表者 : 鹿児島県、沖縄県
- 助言者 : 沖縄女子短期大学 教授 廣瀬 真喜子 氏
- 定員 : 130名
- 会場 : 沖縄ハーバービューホテル

【カテゴリー3】 多様な連携と協働をつくる

子育て不安や児童虐待への対応等、子どもと子育て家庭への支援は、地域社会を基盤として多面的に取り組みを充実していくことが大切です。保育所・認定こども園等は、さまざまな機関・組織・団体や地域住民が連携・協働して地域の保育機能を高めるための中心的存在として、役割を果たします。また、必要に応じて、社会福祉法人の法人間連携、公私や民間施設相互における事業連携を進めます。そして、企業や非営利活動法人等の多様な連携を研究します。

◇第5分科会 子どものより良い育ちと安全・安心の環境づくりにむけた関係機関とのネットワーク

子どものより良い育ちにむけ、保育所・認定こども園等、小学校さらに中学校との連携は、子ども一人ひとりの成長を連続的にとらえる視点として重要です。

また、子ども・子育て制度では各市町村で策定された「子ども・子育て支援事業計画（都道府県においては子ども・子育て支援事業支援計画）」に基づき事業実施が行われ、各地域の保育施策の充実化にむけては、社会福祉法人をはじめとする保育・子育て支援関係者と各地域の行政機関等との連携や、信頼関係の構築もいっそう大切となります。

さらには、子どもの貧困に起因する課題への対応、児童虐待予防、病児・病後児保育、さらには災害対応など、保育所・認定こども園等単体のみならず、地域の関係各機関と連携・協働をもってすすめるべき取り組みは多くあります。

本テーマでは、子どものより良い育ちにむけた、多様な機関との連携・協働のすすめ方や保育所・認定こども園等が果たすべき役割などについて研究を深めます。

○意見発表者 : 福岡県、長崎県

○助言者 : 沖縄キリスト教短期大学 教授 照屋 建太 氏

○定員 : 130名

○会場 : ホテルコレクティブ

【カテゴリー４】 子育て文化を育む

子どもを対象とした犯罪や虐待を未然に防ぐために、次世代を創造する子どもをかけがえない存在として愛しみ、尊いものとして価値を認め、子どもや子育てに多くの人が関心を持つ子育て文化をつくります。保育所・認定こども園等が社会全体で育む子育て文化を地域社会に発信します。また、地域共生社会を実現するため、保育所・認定こども園等の機能を社会に開き、地域社会に根差した運営をめざします。

◇第6分科会 家庭や地域との連携による食育の推進

乳幼児期の食育の推進は、「食べる」ことや「いのち」への関心、さらに適切な食習慣の形成において大変重要です。そして食に関する家庭との相互理解、さらには地域子育て家庭にむけた食育実践や地域の食文化継承などの視点から、保育所・認定こども園等のみならず家庭や地域との連携のもので実践を進めることが必要となります。

さらに保育現場では、自園調理の意義や有用性の確立ならびに、食物アレルギーをもつ子どもへの対応等も大きな課題となっています。

本テーマでは、保護者、家庭や地域と連携した食育の実践、食物アレルギーへの対応、食をととした保育実践のあり方などについて研究を深めます。

- 意見発表者 : 福岡県、熊本県
- 助言者 : 沖縄大学 准教授 喜屋武 ゆりか 氏
- 定員 : 140名
- 会場 : ホテルコレクティブ

◇第7分科会 保育の社会化にむけて ～保育の営みをいかに社会に発信するか～

少子化や核家族化がすすむなか、社会における人と人、とくに子どもとおとながつながる場面が少なくなりつつあり、社会における子ども・子育てへの関心低下につながっています。こうしたなか、子育て家庭や保育関係者にかぎらず、すべての人が子どもや子育てに関心をもつ取り組みが、安心して子どもを産み育てることができる社会づくりにむけて大切です。

本テーマでは、保育所・認定こども園等の地域にむけた諸活動の展開により、広く地域や国民に対して子ども・子育てへの関心や保育の営みの重要性を発信し、地域全体で子育てを考えていく取り組みについて、研究を深めます。

- 意見発表者 : 福岡県、鹿児島県
- 助言者 : 沖縄キリスト教短期大学 特任教授 吉浜 幸雅 氏
- 定員 : 150名
- 会場 : ホテルコレクティブ

【カテゴリー5】 子育て・子育てを支援する仕組みをつくる

わが国の家族関係の給付のGDPに占める割合は諸外国のなかでもとても低い水準です。こうした政策のあり方を改善するとともに、未来の日本の社会を担う子どもを中心に、子どもたちが豊かに育つ環境を社会全体が支えていく仕組みについて研究・提言します。

◇第8分科会 公立保育所・公立認定こども園等の使命と地域社会での役割

保育・子育て支援の今日的な流れにおいては、都道府県や市町村に保育制度・施策に関する責務が増大する方向性であり、保育の質やその実践において地域間格差が進むことが懸念されます。

本テーマでは、地域全体の保育の質の向上にむけた公立保育所・公立認定こども園等の意義や役割意識の普及、行政機関でもある特性を活かした具体的実践のあり方などについて研究を深めます。

- 意見発表者 : 福岡県、沖縄県
- 助言者 : 沖縄女子短期大学 講師 名渡山 よし乃 氏
- 定員 : 60名
- 会場 : 沖縄ハーバービューホテル

開催県特別分科会

○日 時 : 令和7年7月18日(金) 10:30～12:00

○演 題 : 「碧き王国の歴史～九州と海域アジアを結ぶ」

○講 師 : 賀数 仁然(かかず ひとさ)氏
(琉球史芸人・ラジオパーソナリティー)

○会 場 : 那覇文化芸術劇場なは～と 小劇場

◇プロフィール

1969年那覇市生まれ。早稲田大学大学院 人間科学研究科修了(生命科学専攻)。沖縄セルラー電話にて10年間勤務。auシカを開発し社長賞受賞。沖縄大学地域研究所特別研究員。

<講師および講座>

琉球大学国際地域創造学部非常勤講師、学校法人雙星舎高等部講師(評議員兼務)、沖縄調理師専門学校講師、沖縄コンベンションビューロー、琉球新報にて琉球史・民俗文化講師他多数。

<メディア関連>

沖縄タイムス歴史文化コラム週1回連載、NHK沖縄「おきなわHOT eye」賀数仁然の沖縄カルチャー探訪、雑誌他多数寄稿、FM沖縄「ゴールデンアワー」、映画・TV、ドキュメンタリー番組の監修および構成作家など多数手掛ける(尚巴志、尚円王、琉球サウダージ、ナショナルジオグラフィック、琉球史漫画原作、歴史劇「中城グスクと護佐丸」「マジンメン大戦争」「1719～龍珠の記憶」、国立劇場おきなわ琉球講談など舞台脚本も多数。

<受賞>

第48回ギャラクシー賞ラジオ奨励賞・2010年九州日本民間放送連盟ラジオ番組ワイド部門優秀賞「久茂地放送屋」2021年同教養バラエティ部門優秀賞テレビ番組「となりの賀数さん一家」2024年全国民放連ドラマ部門優秀賞「阿麻和利 The Last Hero」著書「さきがけ! 歴男塾」Amazon地域史部門1位獲得。第1回おきなわ本屋大賞2位。



記念講演

○日 時 : 令和7年7月18日(金) 14:00～15:30

○演 題 : 「保育の中の子どもの声 ～自分の声を聴きとられる心地よさ 多様な声を響き合わせるおもしろさ～」

○講 師 : 加藤 繁美(かとう しげみ)氏
(山梨大学 名誉教授)

○会 場 : 那覇文化芸術劇場なは～と 大劇場

◇プロフィール

名古屋大学大学院教育学研究科博士前期課程修了。博士後期課程在学中に山梨大学教育学部に着任。以降、2018年まで在職。2018年4月より2022年3月まで東京家政大学教授。山梨大学名誉教授、子どもの文化学校長。

保育実践のあるべき姿を保育者－子ども関係に焦点をあてて研究しているが、それに並行して、保育・幼児教育制度の歴史と現実に関する研究も展開している。



《主な著書》

『保育の中の子どもの声－自分の声を聴きとられる心地よさ 多様な声を響き合わせるおもしろさ－』(ひとなる書房、2023)

『保育・幼児教育の戦後改革』(ひとなる書房、2021)

『子どもとつくる0歳児保育～5歳児保育』(監修・ひとなる書房、2011～2016年)

『記録を書く人 書けない人－楽しくかけて保育が変わるシナリオ型保育実践記録』(ひとなる書房、2014年)

『0歳－6歳 心の発達と対話する保育の本』(学研教育出版、2012年)

『子どもと歩けばおもしろい－対話と共感の保育実践論(新版)』(ひとなる書房、2010年)

『対話と保育実践のフーガ』(ひとなる書房、2009年)

『対話的保育カリキュラム(上)』(ひとなる書房、2007年)

『対話的保育カリキュラム(下)』(ひとなる書房、2008年)

『5歳児の協同的学びと対話的保育』(共著: ひとなる書房、2005年)

『子どもへの責任－日本社会と保育の未来』(ひとなる書房、2005年)

『しあわせの ものさし』(ひとなる書房、(ひとなる書房、1999年)

※『対話的保育カリキュラム(上・下)』は日本保育学会から保育学文献賞を受賞している。

セミナー

第36回九州ブロック保育士会セミナー開催要項

1 趣 旨

このセミナーは、全国保育士会の助成事業で、保育士会会員一人ひとりに中央組織の活動状況や組織活動の意義についてパイプを通し、各県の代表がどのように組織に関わっているかの見解に立ち、組織構成の一員としての自覚をもって、子どもの幸せのための手つなぎを深め、保育士会の充実強化を図るものです。また、九州ブロック内の保育士が共通の問題意識をもって、日々の保育に取り組むことを目的としております。

本年度は、北野幸子先生をお招きして、全国保育士会副会長北野久美先生との「指針改定に向けた保育の質の再確認」（仮題）について対談を予定しておりますので、各県から多数のご参加をお待ちしております。

2 日 時 令和7年7月17日（木） 16:15～18:30

3 場 所 那覇文化芸術劇場なはへと 大劇場

4 研修内容

（1）全国保育士会活動報告

（2）講演会

◇ テーマ 「指針改定に向けた保育の質の再確認」（仮題）

◇ 講 師 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 人間発達専攻

教授 北野 幸子（きたの さちこ） 氏

全国保育士会

副会長 北野 久美（きたの くみ） 氏



北野 幸子 氏プロフィール

神戸大学大学院 教授。環太平洋乳幼児教育学会（PECERA）理事・副会長、日本保育学会理事、日本乳幼児教育学会理事など。1993年 神戸大学教育学部幼児教育科卒業、1995年 ミネソタ大学特別研究員、1998年 広島大学大学院教育学研究科博士課程後期、幼児学専攻、単位取得満期退学。2001年：博士（教育学）、広島大学論文博士。広島国際大学、福岡教育大学を経て 現在、神戸大学大学院人間発達環境 学研究科人間発達専攻教授。



北野 久美 氏プロフィール

社会福祉法人愛育会 あけぼの愛育保育園 園長。2007年北九州市保育士会 会長、2011年～2017年九社連保育士会会長、2016年全国保育士会副会長、2012年～2017年西南女学院大学短期大学部保育科非常勤講師（乳児保育Ⅰ、Ⅱ）

《社会的活動》日本保育保健協議会副会長、国連ウィメン日本協会北九州 副会長、北九州サステナビリティ研究所理事、アジア女性交流・研究フォーラム理事、北九州市社会福祉協議会評議員 等

第9回九州保育三団体研究大会（沖縄県大会）

大会参加・交流会・宿泊等のご案内

1 大会のご案内

- 【期 日】 令和7年7月17日（木）～18日（金）
【開催地】 沖縄県那覇市
【会 場】 全体会：那覇文化芸術劇場なはーと
分科会：沖縄ハーバービューホテル・ホテルコレクティブ
オリオンホテル那覇・那覇文化芸術劇場なはーと

2 参加費について

- 【参加費】 16,000円

3 交流会について【交流会の取り扱いに関しては、旅行契約ではございません】

- 【期 日】 令和7年7月17日（木）
【時 間】 19:00～
【会 場】 沖縄ハーバービューホテル 2階「彩海」
【会 費】 14,000円（税込み）

4 宿泊のご案内【募集型企画旅行契約の部となります】※最少催行人員 1名

大会参加者用宿泊プランをご用意いたしました。ご希望の方は一覧の宿泊施設より選択してください。

- 【宿泊設定】 令和7年7月16日（水）・7月17日（木）・7月18日（金）
3泊の内必要泊数

※ただし、災害等特別な事由が生じた場合は別途考慮します。

- 【食事条件】 1泊朝食付

※旅行代金には宿泊費、記載された食事代及び消費税等諸税を含みます。

なお、飲料代、昼食代、交通費、駐車場代及び洗濯代（クリーニング代を含む）等、個人的性質の諸費用は旅行代金に含まれておりません。

※申込順とさせていただきます、ご希望の宿泊施設が満室の場合は、他の宿泊施設を選択してください。

※禁煙・喫煙ルームは数に限りがありご希望に添えない場合がございます。

禁煙ルームをご用意出来ない場合は、消臭対応となりますことを予めご了承ください。

禁煙ルームのみの設定の宿泊施設がございますので、お申し込みの際はご注意ください。

※リノベーション等により禁煙・喫煙の設定は変更となる場合がございます。

※感染症対策に基づいたサービス・食事提供内容の変更の可能性がございます。

※所要時間は徒歩または公共交通機関を使用した場合の目安となります。

※大会会場・交流会の駐車場は限りがございますので、公共交通機関でのご来場をお願いいたします。

※下記の宿泊施設は、無料朝食サービスの施設となります。

東横 INN 那覇旭橋駅前・東横 INN 那覇国際通り美栄橋駅・コンフォートホテル那覇県庁前・

コンフォートイン那覇泊港・ホテルルートイン那覇旭橋駅東・ホテルルートイン那覇泊港

※沖縄ハーバービューホテルは改装工事期間のため、騒音や景観に影響がある場合がございますので、ご注意ください。

宿泊施設名	申込 番号	部屋 タイプ	旅行代金 (宿泊料金)	禁煙・喫煙	最寄駅まで	
オリオンホテル那覇	1-S	シングル	24,000 円	禁煙	牧志駅	徒歩約 3 分 【分科会会場】
	1-T	ツイン	15,000 円			
沖縄ハーバービューホテル	2-S	シングル	22,000 円	禁煙・喫煙	旭橋駅	徒歩約 10 分 【分科会会場】 【交流会会場】
	2-T	ツイン	13,500 円			
ホテルオーシャン	3-S	シングル	12,500 円	禁煙	牧志駅	徒歩約 3 分
	3-T	ツイン	10,000 円			
那覇東急 REI ホテル	4-S	シングル	12,000 円	禁煙	旭橋駅	徒歩約 5 分
	4-T	ツイン	9,000 円			
ホテルランタナ那覇国際通り	5-S	シングル	12,000 円	禁煙	美栄橋駅	徒歩約 9 分
	5-T	ツイン	9,000 円			
南西観光ホテル	6-S	シングル	12,000 円	禁煙	牧志駅	徒歩約 1 分
	6-T	ツイン	8,500 円			
西鉄リゾートイン那覇	7-S	シングル	11,000 円	禁煙	県庁前駅	徒歩約 5 分
ホテルユクエスタ旭橋	8-S	シングル	11,000 円	禁煙・喫煙	旭橋駅	徒歩約 4 分
コンフォートホテル那覇県庁前	9-S	シングル	11,000 円	禁煙	県庁前駅	徒歩約 4 分
ホテルサンパレス球陽館	10-S	シングル	10,000 円	禁煙・喫煙	県庁前駅	徒歩約 3 分
	10-T	ツイン	8,500 円			
ホテルユクエスタ東町	11-S	シングル	10,000 円	禁煙	旭橋駅	徒歩約 5 分
コンフォートイン那覇泊港	12-S	シングル	10,000 円	禁煙	美栄橋駅	徒歩約 5 分
ホテルルートイン那覇旭橋駅東	13-S	シングル	10,000 円	禁煙	旭橋駅	徒歩約 5 分
ホテルルートイン那覇泊港	14-S	シングル	10,000 円	禁煙・喫煙	美栄橋駅	徒歩約 5 分
東横 INN 那覇旭橋駅前	15-S	シングル	9,500 円	禁煙	旭橋駅	徒歩約 7 分
東横 INN 那覇国際通り美栄橋駅	16-S	シングル	9,500 円	禁煙・喫煙	美栄橋駅	徒歩約 1 分
琉球サンロイヤルホテル	17-S	シングル	8,500 円	禁煙	旭橋駅	徒歩約 5 分
	17-T	ツイン	7,500 円			
スマイルホテル沖縄那覇	18-S	シングル	8,500 円	禁煙・喫煙	美栄橋駅	徒歩約 7 分
GRG ホテル那覇東町	19-S	シングル	8,500 円	禁煙・喫煙	旭橋駅	徒歩約 5 分

5 会場（全体会・交流会・分科会）へのアクセス

【全体会・分科会：那覇文化芸術劇場なはーと（那覇市久茂地 3-26-27）】

■ゆいレール県庁前駅・美栄橋駅より徒歩約 6 分

【交流会・分科会：沖縄ハーバービューホテル（那覇市泉崎 2-46）】

■ゆいレール旭橋駅・壺川駅より徒歩約 10 分

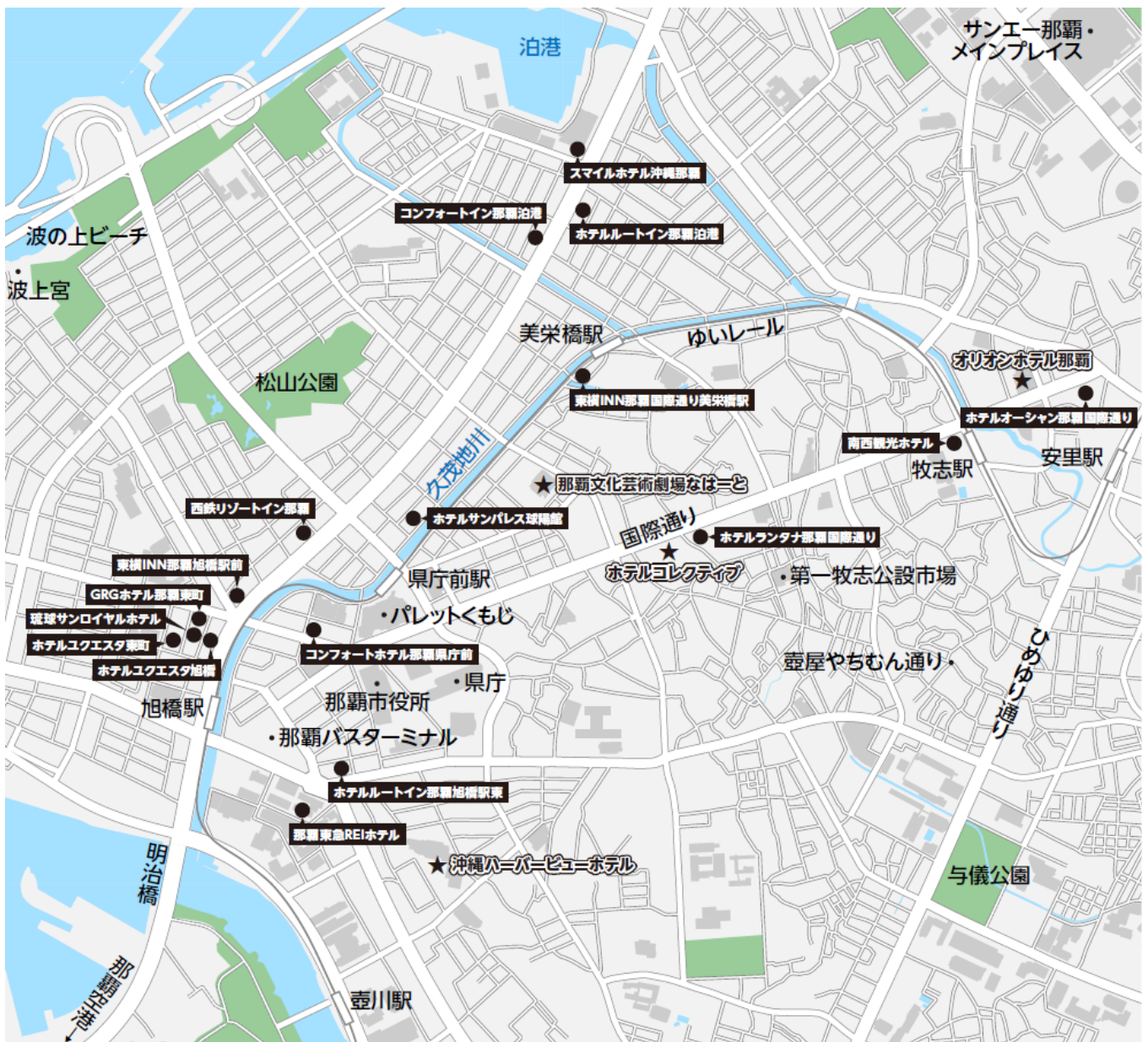
【分科会：ホテルコレクティブ（那覇市松尾 2-5-7）】

■ゆいレール県庁前駅・美栄橋駅・牧志駅より徒歩約 11 分

【分科会：オリオンホテル那覇（那覇市安里 1-2-21）】

■ゆいレール牧志駅より徒歩約 3 分

※いずれの会場もコインパーキングのみ、または駐車場に限りがございますので、公共交通機関をご利用ください。



6 お申し込み手続きのご案内

«お申し込みについて»

- 「参加申込専用サイト」よりお申し込みください。
URL : <http://www.mwt-mice.com/events/2025sandantai>
- 参加申込専用サイトにて参加登録・変更・取消の操作を行うことができます。
- 操作方法については各画面にてご案内しております。
登録・予約された際には、「お申し込み連絡担当者情報入力」入力画面で登録したメールアドレスに確認メールが送られます。再度ログインした際には「申込内容（PDF）」にて現在の予約状況を確認できます。

QRコード⇒



◆ **申込締切期限：令和 7 年 5 月 21 日（水）** ◆

«費用について»

- 原則としてお振り込み後及び大会当日の欠席の場合、参加費は返金いたしません。
後日、大会資料を送付いたします。
- 費用（大会参加費、交流会費、旅行代金等）のお支払いにつきましては、銀行振込となります。
参加申込専用サイト内の「お支払い」の内容をご確認いただき、お申し込み後 2 週間以内に指定口座へお支払いをお願いいたします。振込手数料はご負担いただきますようお願いいたします。
- 大会参加費は主催者様意向で弊社が代行収受しますが募集型旅行契約には該当しません。
※大会参加券等の発送はございません。大会当日に受付にて名札をお渡しいたします。

7 変更・取消について

- 申し込み締切日までの「変更・取消・追加」につきましては、参加申込専用サイトにて操作が可能です。
- 申し込み締切後の「変更・取消・追加」につきましては、参加申込専用サイトでの参加登録・変更・取消は出来ませんので、参加申込専用サイトのトップ画面に添付の「変更・取消・追加連絡書」を作成の上、E-Mail（2025sandantai@mwt.co.jp）にてご連絡ください。
- トラブル防止のため電話での変更、取消はお受けできかねますので、何卒ご協力をお願いいたします。
- 変更・取消の場合、取消日（旅行契約の解除期日）により、取消料が発生いたしますので、ご注意ください。
※取消日とは、お客様が弊社の営業日・営業時間内に弊社へご連絡いただいた日となります。

8 個人情報の取り扱い

名鉄観光サービス株式会社は、お申込みの際にご提出いただいた個人情報について、お客様との連絡や輸送・宿泊期間等の提供するサービスの手配及び受領のための手続きに利用させて頂くほか、必要な範囲内で当該機関等及び手配代行者に提供いたします。また、大会主催者事務局に提供いたします。それ以外の目的でご提供いただく個人情報は使用いたしません。弊社の個人情報の取扱に関する方針については、弊社の店頭またはホームページにてご確認ください。

名鉄観光サービスホームページ（<https://www.mwt.co.jp/>） ⇒ ご利用案内（TOP ページ最下部） ⇒
⇒ 運営、約款、条件書等について ⇒ 『個人情報保護方針、個人情報保護の対応について』

9 旅程管理業務を行う者の同行

※添乗員は同行いたしません。

会場にて弊社係員が受付・変更の業務を行います。

10 ご旅行条件の要約

※この書面は、旅行業法第12条の4に定める旅行取引条件説明書面及び同法第12条の5に定める契約書面の一部になります。
 ※詳しい旅行条件を説明した書面をお渡ししますので、事前にご確認の上、お申し込みください。
 ※ご旅行中の手続きは、お客様自身でお願いします。

この旅行は、名鉄観光サービス㈱（以下「当社」といいます）が旅行企画・実施するものであり、旅行に参加されるお客様は、当社と募集型企画旅行契約（以下「旅行契約」といいます。）を締結することになります。旅行契約の内容・条件は、パンフレット、別途お渡しする旅行条件書、出発前にお渡しする確定書面（最終日程表）及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。当社旅行業約款をご希望の方は、当社にご請求ください。

●申込の方法と契約の時期

- 旅行のお申込みは所定の申込書にご記入の上、申込金を添えてお申し込みください。当社が契約の締結を承諾し、申込金・旅行代金を受理した時に契約が成立します。電話、郵便、FAX、インターネット等により予約いただいた場合は、当社が予約を承諾する旨を通知した日の翌日から起算して3日以内に申込み手続をお願いします。
- 申込金は、「お支払対象旅行代金」又は「取消料」、「違約料」の一部又は全部として取り扱います。
- 団体・グループを構成する旅行者の代表としての契約責任者から旅行申込みがあった場合、契約の締結及び解除等に関する一切の代理権を契約責任者が有しているものとします。

●申込金・旅行代金のお支払い

- 旅行代金全額お支払いの場合は弊社が指定する期日までにお支払い下さい。
- 申込金と残金を分けてお支払いの際、お一人様につき以下の申込金をお支払いいただきます。
 30,000円未満……………5,000円以上旅行代金まで
 30,000円以上 60,000円未満……………10,000円以上旅行代金まで
 60,000円以上……………20,000円以上旅行代金まで
- 残金は旅行開始日の前日からさかのぼって21日前にあたる日より前（お申し込みが間際の場合は当社が指定する期日まで）にお支払いください。

●旅行代金に含まれるもの

- 旅行日程に明示された宿泊費、食事代及び消費税等諸税。
- 上記の諸費用は、お客様のご都合により一部利用されなくても原則として払い戻しはいたしません。

●取消料

- お客様はいつでも次による取消料をお支払いいただくことにより旅行契約を解除することができます。

【宿泊の部】※弊社営業時間内にお申し出ください。営業時間外のお申し出は翌営業日扱いとなります。

解除期日	取消料（お一人様）
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって20日目（日帰り旅行にあつては10日目）にあたる日以降8日目に当たる日まで	旅行代金の20%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって7日目にあたる日以降前々日にあたる日まで	旅行代金の30%
旅行開始日の前日	旅行代金の40%
旅行開始日当日	旅行代金の50%
無連絡不参加及び旅行開始後	旅行代金の100%

【交流会の部】※弊社営業時間内にお申し出ください。営業時間外のお申し出は翌営業日扱いとなります。旅行契約ではございません。

解除期日	取消料（お一人様）
2025年7月2日（水）までに取消の場合	無料
2025年7月3日（木）以降に取消の場合	交流会費の100%

●特別補償

お客様が募集型企画旅行参加中に急激かつ偶然な外来の事故によって身体または手荷物の上に被った一定の損害について、あらかじめ定める額の補償金及び見舞金を支払います。

●旅程保証

当社は当パンフレットに記載した契約内容のうち、当社旅行業約款（募集型企画旅行の部第29条別表左欄）に掲げる重要な変更が生じた場合は同条に定めるところによる変更補償金をお支払いいたします。

●基準日

この旅行条件は令和7年3月13日を基準としています。また、旅行代金は令和7年3月13日現在の有効な運賃・規則を基準として算出しております。

お問い合わせ・お申し込み先

名鉄観光サービス株式会社沖縄支店

観光庁長官登録旅行業第55号

（一社）日本旅行業協会正会員・旅行業公正取引協議会会員

〒900-0032 沖縄県那覇市松山1-1-14 那覇共同ビル2階

TEL：098-862-8211 FAX：098-862-8212

営業時間 09:30～12:00、13:00～17:00（土・日・祝祭日休業）

総合旅行業務取扱管理者：長谷川 住男

担当：原 篤史

E-Mail：2025sandantai@mwt.co.jp

※旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に関し、担当者からの説明にご不明の点があれば、ご遠慮なく上記の旅行業務取扱管理者にお尋ねください。



一般社団法人
日本旅行業協会



旅行業公正取引
協議会 会員

承認コード

S25-0305

